

ニュース JAFIC EYE No.131

2019年4月 銚子駐在所報告

1. 一艘まき網の漁況について

3月中はマイワシ漁が好調で魚価が下がり、3月28日の晩より、投網回数は一回となった。3月中旬に二艘まきが犬吠沖でサバを一網30～200トン漁獲したため、サバ群の出現が期待されたが、出現はなかった。マイワシ中羽群は大群であり、磯崎沖～鹿島沖(水温10.1～15.3℃)で漁場形成があり、一網20～480トンの漁獲があった。入網量が多く、破網(パンク)する船もあった。

上旬は3日間出漁があり、一の島北東沖(水温14.6～16.1℃)でマイワシを一網20～480トン漁獲した。中旬は3日間出漁があり、磯崎沖～一の島北東沖(10.1～15.2℃)でマイワシを一網20～390トン漁獲した。下旬は3日間出漁があり、一の島東沖(13.7～15.6℃)でマイワシを一網40～390トン漁獲した。

2. 二艘まき網の漁況について

二艘まき網はマイワシ小中羽が、網の目に刺さる事故があったため、小中羽を避けて漁を行っていた。また、イナダ、アジ、サバを対象に出漁する船が多かった。

上旬は3日間出漁し、前半2日間は一の島北沖～東沖で一網30～190トン漁獲した。後半はマイワシ、イナダアジサバ狙いに分かれて操業し、一の島北沖でマイワシを一網155トン、他船が犬吠南沖でイナダを一網3～90トン漁獲があった。漁獲量は船団格差があった。中旬は4日間出漁し、一の島北沖でマイワシを一網55～145トン漁獲した。犬吠南沖でアジや、一の島北沖でイナダを漁獲した。犬吠沖でもマイワシは見られたが、破網を恐れ、一の島北沖でイナダを漁獲した船があった。中旬はイナダ・アジ群が少なかった事、マイワシによる破

網を恐れ操業できなかった船もあった。下旬は3日間出漁し、犬吠南沖でアジやイナダ、一の島北沖でマイワシを漁獲した。

3. サバについて

4月のサバは中部海区で漁獲されたサバであり、一日1～4隻、7日間出漁があり、15隻が一網40～250トンの漁獲であった。サバ魚体は200～850g、200～300g中心、400gup5～20%、300g中心、400gup20～35%、500gup5～15%、300～400g中心、500gup15%の魚体組成であった。魚価は93.9円～45円、平均87.7～64.9円であった。マイワシの混じりもみられた。

中部海区のサバ群は好調であり、地元のサバ魚価よりも銚子の魚価の方が高値であったため、銚子まで運んで水揚していた。地元(銚子、波崎、旭)の冷凍冷蔵業者が陸送で買い付けていた。

4. イワシについて

水揚は12日間、245隻、37,869トン漁獲があった。上旬は一艘まきが鹿島沖(水温14.9～15.1℃)で一網20～480トン漁獲した。二艘まきも鹿島沖で一網30～196トンの漁獲があった。魚体は20～120g、40～60g、30～40g中心、90gup1～20%であった。中旬は一艘まきが一の島北沖～北東沖(水温10.1～15.2℃)で一網20～390トン漁獲した。二艘まき網も一の島東沖で操業した。魚体は20～120g、20～50g中心、30～60g中心、70g5～35%であった。魚価は60～25円、平均47～34円であったが、後半にかけてさらに下落し、平均30円まで下がった。下旬は一艘まき網が一の島北東沖～東沖(水温13.7～16.4℃)で一網50～390トン漁獲した。二艘まき網も一の島北沖～北東沖で操業し、一網60～205トン漁獲した。魚体は20～130g、40～70g中心、100gup15～25%及び30～60g中心70gup3～40%で上中旬よりも大きかった。

5. イナダについて

二艘まき網がイナダ漁を行い、上旬は犬吠南沖で一網3～90トンの漁獲があった。中旬は一の島北沖(水温14.1℃)で一網10～35トンの漁獲があった、下旬は犬吠南西沖で漁獲されたが量は少なかった。船団格差が大きかった。魚体は上旬で3～4キロ、中旬で1～2キロが中心であった。魚価は341円～155円、平均77円～320円で推移した。魚体1.5Kg前後が消費者に販売しやすく、やや高値であった。

6. アジについて

二艘まき網がアジ狙いで操業し、中旬には犬吠南西沖で一網1～16トン漁獲した。下旬は犬吠南沖(水温16.2℃)で一網13トン漁獲した。魚体は中旬で120～370g、160～250g中心、300gup10%及び120～180g中心、200gup20%であった。下旬で220～780g、300～500g中心、600gup20%であった。

7. ヤリイカについて

ヤリイカ漁は3月までは順調な水揚であったが、4月は10本～160本と低調な水揚であった。漁場が狭く、良好なヤリイカ群に当たった船とそうでない船とで船団格差があった。ヤリイカ魚体は上旬では小ヤリイカ主体であったが、中下旬は大～中ヤリイカが総体の60～80%であった。魚価は上旬では2,889～511円、中旬は1,569～359円、下旬は2,840～670円で推移していた。ヤリイカの旬はすぎたと考えられるが、高値であった。

(文中の“魚価”は1Kgあたりの価格を示します。)

(JAFIC 銚子駐在所、文責漁海況部)